

事前評価書

年度	R3
整理番号	
事業主体	大分県

事業名・路線名等		道路改築事業 <small>おおとましまとくうらせん つばえ</small> 大泊浜徳浦線(坪江工区)	事業主体	大分県
所在地		臼杵市 <small>ふかえ</small> 大字深江		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良、幅員狭小箇所の解消による走行性、安全性の向上を図る ・防災機能の向上、半島集落の孤立化の防止を図る ・臼杵市中心部(病院等の公共施設)へのアクセス強化を図る 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=540m(現拡)、W=5.5(7.0)m</p> <p>【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 530台/日 (令和12年度)</p> <p>【現況幅員・交通量】 W=2.8~6.5m 交通量 535台/12h(平成27年度交通センサス)</p>		
	事業費	C=550百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和10年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 測量、道路詳細設計、関係機関との協議</p> <p>2年目 用地測量、公有水面埋立協議、用地補償</p> <p>3年目 道路工事</p> <p>4年目 道路工事</p> <p>5年目 道路工事</p> <p>6年目 道路工事</p> <p>7年目 道路工事 完成</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良による離合困難区間があり、走行性、安全性が低い ・災害発生時に通行止めとなった場合、迂回路が無いことから孤立化が懸念 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良、幅員狭小箇所の解消による走行性、安全性の向上 ・防災機能の向上、半島集落の孤立化の防止 ・臼杵市中心部(病院等の公共施設)へのアクセス強化 		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・通行困難区間の解消(一次改築)のため、防災面・交通安全の観点から評価 【参考】 B/C=0.2 		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造令等に適合した工法を採用 ・複数案のルート比較を行い、最も経済的なルートを選定 		
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト・砕石は再生材を利用 ・建設発生土を盛土材に利用 		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道を活用し、土地の改変を最小限に抑制 		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・臼杵市から要望書が毎年提出されている ・地元自治会からの要望が強く、地元の協力体制は整っている 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法第15条に基づき道路管理者として事業を実施 ・『安全・活力・発展プラン2015~2020改訂版~』、『おおいの道構想2015~改訂~』に基づき事業を実施 ・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・迂回路が遠く、沿岸部に道路が面していることから、越波に対して脆弱であるため、施工中の交通規制などに配慮した施工計画を立案 		
対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい 		

事業箇所位置図

